

ワクワク ドキドキ 就学前の身体づくり実践の探求

人間科学部
子ども教育学科
教授
鐘ヶ江 淳一

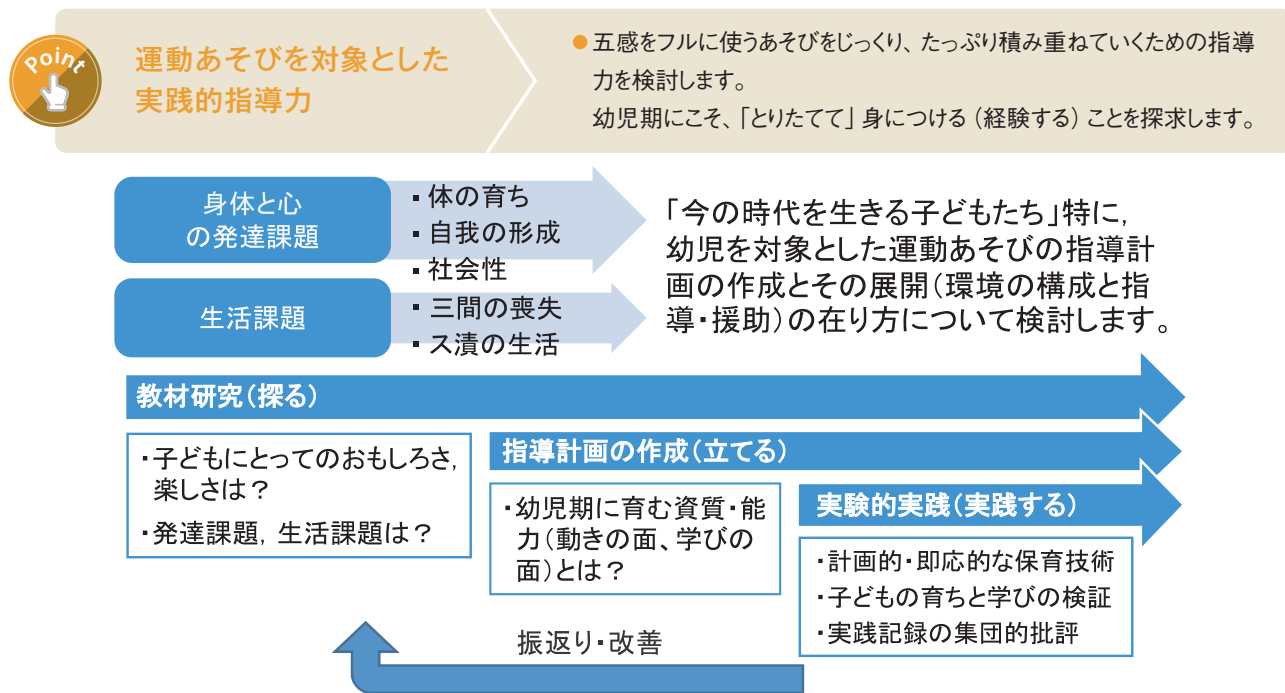


研究シーズの紹介

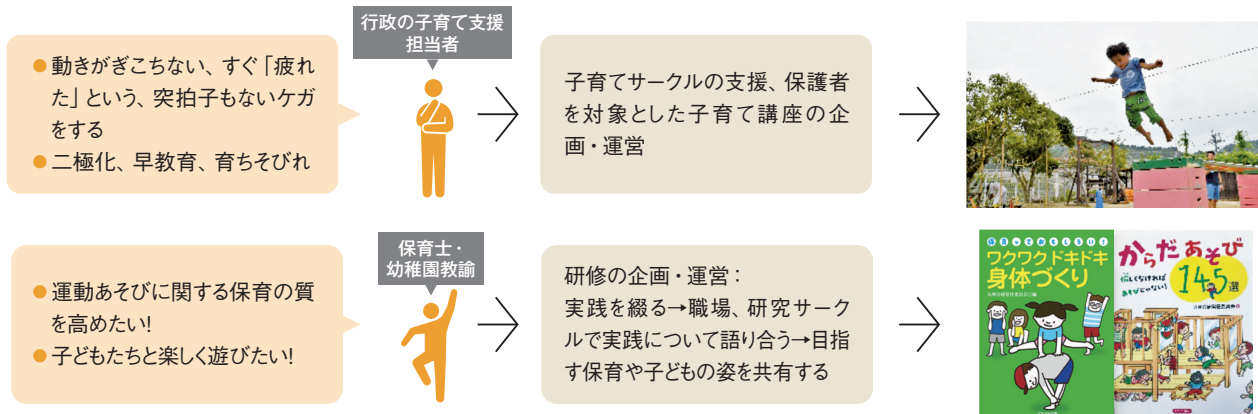
現代の5歳は30年近く前の3歳程度の運動能力に止まっているという調査結果が出されています。こうした現状を受け、外部講師による「体育教室」などを実施する幼稚園、保育所が多くなっています。しかし、「体育教室」実施園はそうでない園よりも運動能力の育ちがよくないという調査結果もあります。身体を思いっきり動かし、友だちと関わり、能動的に、知的機能を積極的に行使するあそびの保育こそ、身体や心の発達につ

ながるといえます。

一方、「子どもが変わった、親が変わった」といわれるあそび・生活の変化に伴い、新たな実践課題が浮かび上がっています。本研究では、発達課題、生活課題を踏まえながら、子どもたちがワクワク、ドキドキするようなあそびを幼稚園、保育所、そして小学校の先生方と協働して探求しています。



期待される活用シーン



その他の研究テーマ

就学前教育における体育的カリキュラムに関する研究
体育的活動の幼・保一小的接続に関する研究
途上国の就学前教育支援に関する研究